

## 施策評価調書(2年度実績)

				施策コード	Ⅲ-2-(1)		
政策体系	施策名	芸術文化の創造	所管部局名	企画振興部		長期総合計画頁	137
	政策名	芸術文化による創造県おいたの推進	関係部局名	企画振興部、教育庁			

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	多彩で優れた芸術文化に触れる機会の提供	県立美術館における鑑賞・創作機会の提供	県民参加による芸術文化活動の推進と芸術文化を創造し支える人づくり	次代の芸術文化の担い手づくり

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		2年度			6年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	①② ③④	H26	—	50	26	52.0%	50	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> <span>■</span> </div>				

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価	
i	著しく 不十分	県立美術館では、10月に開館5周年記念式典を実施し、「カドウ建築の宴inOPAM」などのイベントを開催したほか、企画展では「坂茂建築展」、「MAN GA都市TOKYO」「びじゅチューン×OPAM なりきり美術館」などを開催し幅広い層の来館者の獲得に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や来館者数の減少により、目標値を達成することができなかった。	著しく 不十分

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・新型コロナウイルスの感染拡大のため、別府アルゲリッチ音楽祭が延期されたが、音楽祭のプロモーションコンサートや動画配信を行うことにより、県民が優れた芸術を享受できる機会を提供することができた。第15回大分アジア彫刻展では、作品公募を実施し10カ国1地域から311名の応募があった。 ・県内の芸術文化情報を発信するための動画やホームページを制作したほか、You Tube、Yahoo!ニュース、Instagramにて県内の芸術文化情報の広告配信を実施した。
②	・県内の13市町村の24校が、県立美術館における鑑賞授業を実施し、小学生661人が参加した。
③	・国東市ではアーティストが住民と意見交換しながらアートを滞在制作するアーティストインレジデンスを実施しアートを制作設置した。
④	・県内中・高・特別支援学校の生徒による絵画作品の展示を大分市内中心部商店街(ガレリア竹町、セントポルタ中央町)、県議会ロビー、さいき城山桜ホールで開催し、子どもたちの発表機会とともに、多くの方が気軽に芸術に触れる機会を創出した。(のべ57校から146点を出展)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	国際芸術文化振興事業	—	338
①③	芸術文化による地域おこし事業	166.4	343
②	芸術文化ゾーン拠点創出事業	51.2	342
④	みんなで作る文化活動推進事業	300.0	338

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

- 第1回大分県文化振興県民会議(R2.8)  
・総合文化センターやOPAMでも子供向けプログラムを強化して欲しい。

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立美術館では、「五感で楽しむことのできる美術館」「自分の家のリビングと思える美術館」「県民とともに成長する美術館」のコンセプトの下、入場者数の目標達成に向けて、多様なジャンルに挑戦する企画展と集客力のある企画展をバランスよく実施する。</li> <li>・県立美術館及びiichiko総合文化センターの回遊性を高め、県民が多様な分野の芸術文化に触れる機会を提供するため、両施設に高画質カメラ及びAIを活用した画像分析システムを設置した。R3年度より来館者の属性や行動分析等の運用を開始し、両施設が連携した魅力ある企画の実現につなげる。</li> <li>・県内各地において多彩で質の高い芸術文化活動が行われるよう、優れた芸術文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境整備の充実を図るとともに、将来の芸術文化の担い手や鑑賞者を育むために、若者や子どもたちの豊かな感性や創造力を育成する機会を充実する。</li> <li>・今後も引き続き、オリンピック・パラリンピック文化プログラムを活用した観光誘客に向けた「カルチャーツーリズム」に取り組む。</li> <li>・県立美術館において、子どもたちの主体的な鑑賞の機会の充実を図るとともに、教員の指導力向上に向けて本物の作品を使ったガイド実践を行う。</li> <li>・シンボルアート制作や県内学生による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。</li> <li>・文化活動を通じた特別支援学校と高校の交流や県内の児童・生徒による芸術作品展示を行い、障がいの有無に関わらない発表機会の創出や芸術文化への関心を高める取り組みを進める。</li> </ul>